

令和8年5月1日
久喜市役所

全国広報コンクール「BS よしもと賞」を受賞

— 「ついでに運動する仕組み」よりみちスポーツが評価 —

埼玉県久喜市(市長 貴志信智)は、商業施設と連携し、日常生活の中にスポーツを取り入れる取組「よりみちスポーツ」に関する広報が評価され、令和8年全国広報コンクールにおいて「BS よしもと賞」を受賞しました。

スポーツ実施率が低い20~30代に対し、「新しい行動を促すのではなく、日常行動の中に埋め込む」という発想が高く評価されました。

主 催	公益社団法人 日本広報協会
コンクール名	令和8年 全国広報コンクール
受 賞 賞	BS よしもと賞(表彰状)
受 賞 者	久喜市 スポーツ振興課
応募部門	広報企画部門
応募テーマ	よりみちスポーツ~商業施設を一番身近なスポーツコートに~

■ 受賞した取り組み「よりみちスポーツ」とは





「よりみちスポーツ」は、商業施設と連携した、地域スポーツ参加促進プログラムです。

市は、スポーツによるまちづくりを進める中で、20～30代の若年層のスポーツ実施率が特に低いという課題に着目。なぜスポーツをしないのかを考察した上で、ターゲットを明確に設定し、施策を設計しました。

特徴として、新しい行動をしてもらうのではなく、すでにある行動の中にスポーツを埋め込むことが挙げられます。市民が日常的に訪れる商業施設と連携し、買い物や散歩などの日常動線の中でピククルボールを体験できる機会を創出。スポーツへの心理的・物理的ハードルを下げることで、これまでスポーツと縁遠かった層へアプローチしました。

また、ピククルボールという手軽で親しみやすい新スポーツを軸に据えることで、初めてでも参加しやすい環境を整えました。これまでスポーツと接点のなかった層の参加が見られるようになり、市民の運動機会の創出に加え、連携先の意識変容や新たな取組の展開にもつながっています。

■ 審査講評(抜粋)

スポーツに関わる課題が定量的に明確化されており、スポーツの実施率調査を基礎にしたターゲット設定も明確であり、納得できる。新しい行動をしてもらうのではなく、行動の中に埋め込む形にするという発想は魅力的である。アクセスしやすい身近な商業施設と連携した点、アピール力の強い新しいスポーツを軸に推進している点が良い。市民の運動習慣の改善や連携先の意識変容、行動変容につながる成果が出ており素晴らしい。

— 令和8年 全国広報コンクール 審査委員

■ 全国広報コンクール/BS よしもと賞について

全国広報コンクールは、公益社団法人 日本広報協会が1964年から実施する、地方自治体等の広報活動の向上を目的としたコンクールです。BS よしもと賞は、地域の魅力やその地方ならではのニュースなど「地域の活性化や課題解決のヒント」になる優れた広報作品に授与される特別賞であり、2022年から設けられています。

【本件の問い合わせ先】

久喜市役所 健康スポーツ部 スポーツ振興課 (内線 2273)

TEL:0480-22-1111 FAX 0480-22-3319

E-mail:sportsshinko@city.kuki.lg.jp